

発 明 の 名 称		分娩予知通報システム	
技 術 分 野		利用分野・適用製品	技 術 情 報
<input checked="" type="checkbox"/> 電機・電子 <input type="checkbox"/> 機械・加工 <input checked="" type="checkbox"/> 情報・通信 <input type="checkbox"/> 化学・薬品 <input type="checkbox"/> 有機材料 <input type="checkbox"/> 無機材料 <input type="checkbox"/> 金属材料 <input type="checkbox"/> 輸送 <input type="checkbox"/> 食品・バイオ <input type="checkbox"/> 生活・文化 <input type="checkbox"/> 土木・建築 <input type="checkbox"/> 繊維・紙 <input checked="" type="checkbox"/> 農林・畜水産 <input type="checkbox"/> 医療・介護 <input type="checkbox"/> その他()		・牛の出産時刻予測 ・分娩事故の低減 ・各種温度監視	詳細資料： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 サンプル： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 見 学： <input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 実施権許諾実績： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 事業化実績： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 そ の 他：
従来技術の課題・問題点等			
<p>従来から家畜にセンサを取り付けて、測定データを無線で中継器までおくり、家畜管理センタで集中管理するようなシステムも提案されているが、呼吸数、血圧、体温の少なくとも1つの測定データを用いているが、どのような状態となったときに分娩の兆候があったとするのかが明確でなかった。</p>			
本発明により解決したポイント			
<p>牛の体温を常時監視するなかで、4時間移動平均値を計算し、24時間前の4時間移動平均値、48時間前の4時間移動平均値と比較して、両方とも膈内温度が0.3℃以上低下したときに分娩予知を行うことで、確実にしかも十分な余裕を持って通報を行うことができる。</p>			
技術の概要(構造・動作等)			
<p>牛の分娩予知通報システム「牛温恵」は、無線温度センサ、膈内留置用ストッパ、モバイル送受信機、データサーバから構成される。「牛温恵」は、まず牛の膈内に留置した無線温度センサが5分間隔で牛体温を計測し、体温データを受信機へ無線送信し、続いて受信機が無線LAN、インターネットを経由してデータサーバに体温データを送信し、データサーバは蓄積された体温データを自動解析する。このデータサーバは、平常体温より0.3℃の体温低下を判断することで、牛の分娩兆候を分娩約24時間前に予知し、段取り通報を畜産農家に自動連絡するとともに、次に無線温度センサが膈から排出されて34℃以下となる一次破水または分娩自体を検知し、分娩開始を知らせる駆付け通報を畜産農家へ自動通報するシステムである。</p>			
図・写真・特記事項等			
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>システム概略図</p> <p>システム概略</p> </div> <div style="width: 35%;"> <p>無線温度計 受信機</p> </div> </div>			
特 許 情 報		関 連 特 許 情 報	
登録番号/公開番号: 特許第 3938786 号 出 願 日: 平成 18 年 4 月 28 日 (2006 年) 登 録 日: 平成 19 年 4 月 6 日 (2007 年) 権利者/出願人: 大分県、(株)リモート		登録番号/発明の名称:	